

ファームウェアアップデートガイド

Crucial® m4 2.5インチSSD ファームウェアリビジョン070H アップデートガイド Windows 7 / Windows 8用
(Rev 0001、0002、0009、0309、000F、010G、040HからRev 070Hへのアップデート)

はじめに

このドキュメントでは、当社のWindowsアップデートユーティリティを使用したCrucial m4 SSD用ファームウェアのアップデートプロセスについて説明します。このユーティリティは単独の実行ファイルで、アップデートに必要なすべての機能が含まれています。別個にブータブル（起動可能）デバイスを作成する必要はありません。

このプログラムはRev 0001、0002、0009、0309、000F、010G、040HからRev 070Hへのファームウェアアップデートに使用するものです。

ご注意：このファームウェアアップデートは、コンピュータシステムにもともと搭載されている、あるいは別途購入されたMicron SSDには適用されません。それらのドライブ用ファームウェアアップデートが必要な場合は、コンピュータの製造元またはwww.micron.comから入手することができます。このファームウェアアップデートは、Micron Real SSD C300ドライブおよびMicron RealSSD C400自己暗号化ドライブ（SED）には適用できません。このアップデートはmSATA m4ドライブ専用のため、2.5インチm4ドライブには使用できません。

警告：他のファームウェアアップデートと同様に、このアップデートをおこなう前に重要なファイルをすべてバックアップまたはコピーして下さい。このファームウェアアップデートプロセスに関する責任はすべてアップデートされるお客様ご自身にあります。プロセスが正常におこなわれた場合はドライブ上のシステムやユーザデータが失われることはありませんが、何らかの理由によりプロセスが中断された場合はSSDが正常に機能しなくなる場合があります。このアップデートをノートパソコンでおこなう際は、ACアダプタを接続した状態で行って下さい。

アップデートの手順

ファームウェアのアップデート作業を開始する前に、以下のステップを完了して下さい。

1. SSDのバックアップを取る

ファームウェアのアップデート作業を開始する前に、システム全体のバックアップを完了させて下さい。万が一アップデートが（電力喪失またはハードウェアの障害により）中断された場合、SSDが正常に機能しなくなる可能性があります。

2. AC電源を使用する

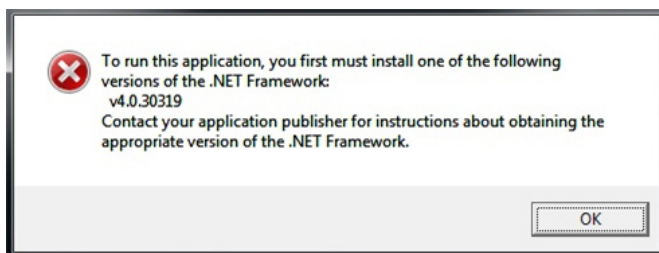
アップデート作業中は、お使いのモバイルPCまたはデスクトップPCを必ずAC電源につないで下さい。アップグレード作業中にバッテリー電源のみを使用することはお奨めできません。また、ファームウェアアップデート作業中は絶対に電源を外さないで下さい。電源を外すとアップデートが不完全な形で終了することがあり、SSDが使用できなくなる可能性があります。

3. ドライブのパスワードを無効化/削除する

OSドライブの暗号化またはBIOSレベルのパスワードなどのパスワード保護により、ファームウェアアップデートが阻害されることがあります。ドライブの暗号化は、OSまたは暗号化に使用しているソフトウェアツールで無効化することができます。BIOSパスワードを無効化するには、お使いのコンピュータのBIOS設定を変更する必要があります。これらの設定変更の詳細に関しては、コンピュータのオーナーズマニュアルをご覧ください。BIOSを起動し（通常は初期画面でDeleteキーとF2キーまたはF12キーを押して表示）、SSDに設定されたすべてのパスワードを無効にして下さい。

4. Microsoft .NET Framework をアップデートする

Windows 7 およびWindows 8 に対応するため、このファームウェアアップデートツールはMicrosoft .NET Framework 4 に基づいて設計されています。このツールを有効にするためには.NET Framework のバージョンのアップデートを必要とする場合があります。ファームウェアアップデートを実行した際に次のエラーメッセージが表示された場合は、Windows アップデートユーティリティを使用して.NET Framework をアップデートして下さい。



ファームウェアアップデートをダウンロードする

1. ファームウェアのダウンロードを開始する前に、インターネットブラウザ以外のすべてのプログラムを閉じて下さい。
2. Crucial m4 SSD用のWindowsファームウェアアップデートユーティリティを、以下のURLから入手して下さい。
<http://www.crucial.com/support/firmware.aspx>
3. Windowsファームウェアアップデートユーティリティへのリンクをクリックして、[Save] (保存) を選択し、ファームウェアアップデートユーティリティの入ったZIPファイルをお使いのシステムにダウンロードして下さい。
4. ZIPファイルをダブルクリックして中のファイルを解凍して下さい。解凍したファイルはデスクトップに保存して下さい。

ファームウェアアップデートを実行する

1. アップデートユーティリティファイルがデスクトップにコピーあるかどうかを確認して下さい。
2. アイコンをダブルクリックしてアップデートユーティリティを開始します。
3. ユーザーアカウントコントロールボックスが開きます。



『Verified Publisher』（署名済み発行元）として『Micron Technology, Inc.』が記載されていることを確認して下さい。もし記載されていない場合は [No] を選択して操作を中止して下さい。ファイルが正しく署名されている場合は [Yes] をクリックして続行します。



4. 続行するには『ライセンス契約』をご承認いただく必要があります。次のようなウィンドウが表示されたら、[License] (ライセンス) ボタンをクリックして下さい。

5. スクロールして『ソフトウェアライセンス契約』をお読み下さい。承認する場合は [Accept] (承認) ボタンをクリックして続行します。
6. ユーティリティはアップデートプロセスを開始する準備ができました。[Continue] (続ける) をクリックする前に、開いているアプリケーションを閉じ、全ての作業内容を保存して下さい。[Continue] (続ける) をクリックするとプロセスが開始されてWindowsが終了し、コンピュータが再起動されます。
7. コンピュータが再起動され、アップデートツールが起動します。次のような画面が表示されます。



8. アップデートツールが完全にロードされた後、次のように表示されます。



アップデートは、旧バージョンである0001、0002、0009、0309、000F、010G、040Hからおこなうことができますので、これらのリビジョンのいずれかが上に示す画面で表示されます（ドライブのシリアルナンバーのすぐ下に表示されます）。お使いのm4ドライブが上に示す画面で表示されていない場合は、「トラブルシューティング」の項目をご覧ください。

9. ユーティリティがドライブのアップデートを即座に開始し、次のように表示されます。



10. このプロセスはほとんどのシステムで30~60秒で完了します。システムによってはそれより長くなる場合があります。

11. 完了後、次のようなメッセージが表示されます。



12. 数秒後にシステムとWindowsが再起動されます。
13. Windowsが問題なく再起動されれば、ファームウェアアップデートプロセスは完了です。

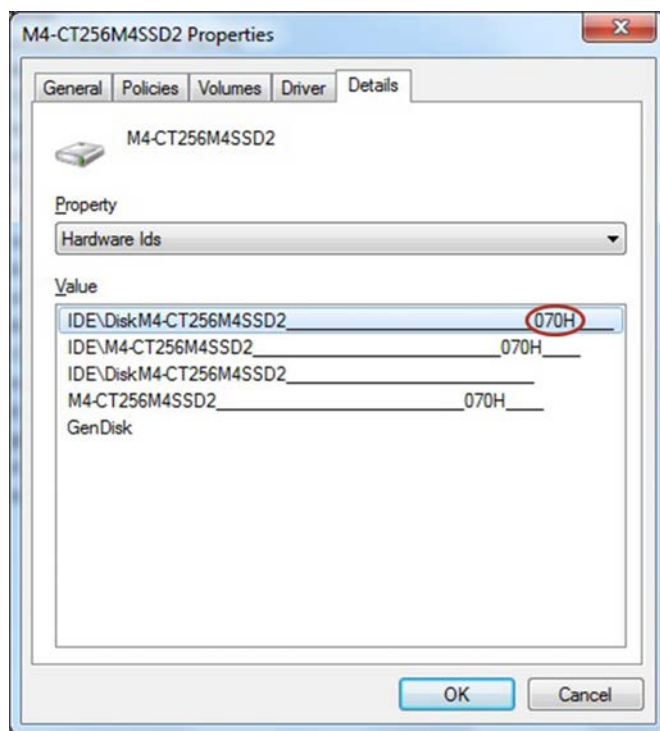
トラブルシューティング

- ・ 本ソフトウェアはさまざまなシステムおよびチップセット設定との互換性をテスト済ですが、すべてのシステムでテストをおこなうことは不可能です。したがって、特定のシステム（例：古いシステム）において互換性に関する問題が生じる場合があります。
- ・ ツールの再起動後に問題が発生した場合は、BIOSレベルのドライブパスワードがすべて無効化されていることをご確認ください。
- ・ お使いのm4ドライブが上記の『ファームウェアアップデートを実行する』ステップ8で認識されない場合、古いシステムではAHCIモードの代わりにIDEモードでアップデートを実行しなければならないことがあります。システムをIDEまたはAHCIモードに変更する必要がある場合、ブータブルCD-ROMなどの外部メディアを使用してシステムを再起動しなければならないことがあります。ブータブルメディアから070H アップデートを実行するための手順は、SSD サポートページ（<http://www.crucial.com/support/firmware.aspx>）をご覧ください。
- ・ システムによっては、RAIDモードの場合にファームウェアアップデートが妨げられることがあります。その場合はAHCIまたはIDEモードに切り替えることでアップデートが完了できる場合があります。RAIDの全設定はアップデート後まで維持されるはずですが、システムがRAIDモードに戻ったら、作業を進める前にお使いのシステムのユーザーマニュアルでご確認ください。
- ・ ペリフェラルRAIDカードはファームウェアアップデートの実行に必要なコマンドを通しません。その場合これらのコマンドを通すマザーボード上のSATAホストバスアダプタまたはSATAコネクタに、対象となるドライブを移すことが必要になる場合があります。
- ・ このファームウェアアップデートツールは、UEFIベースのBIOSを実装したPC、ノートパソコン、タブレットでは正しく動作しないことがあります。弊社では、UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) に基づいたファームウェアアップデートをサポートするアップデートツールを別途ご用意します。

現在のファームウェアリビジョンを確認する

Windows 7では以下の手順により、使用するドライブの現在のファームウェアリビジョンを確認することが可能です。

- ・ Windowsのスタートボタンをクリックして、[コンピュータ] を選択して下さい。
- ・ お使いのドライブを示すディスクアイコン上で右クリックして、[プロパティ] を選択して下さい。
- ・ 開いたウィンドウで [ハードウェア] タブを選択して下さい。
- ・ 全ディスクドライブのリストでm4ドライブをハイライトしてから、[プロパティ] ボタンをクリックして下さい。
- ・ 次に開いたウィンドウで [詳細] ページを選択して下さい。
- ・ [プロパティ] のプルダウンメニューから [ハードウェアID] を選択すると、次のような画面が表示されます。



- ・ 上画面で、赤い丸で囲まれた部分が現在のファームウェアリビジョンです。ファームウェアリビジョンが『070H』となっていれば、これ以上の作業は必要ありません。

ファームウェアリリースノート

m4 SSDのファームウェアは、バージョン040Hから070Hへとアップデート中です。

ファームウェア070Hは、現在040Hまたはそれ以前のバージョンをご利用中の方に対して推奨されるものです。ファームウェア070Hにはこれらのバージョンの漸進的な改善や改良が含まれており、ユーザー体験全体を向上させる可能性があります。

最新のファームウェアバージョンと同じく、バージョン070HにはWindows 8と新UltraBookシステムにおけるバージョン000Fからの改善が含まれていますが、Windows 7やその他のOSを実行している場合でも改善が見られる可能性があります。こうした性能の改善が見られない場合でも、すべてのm4ファームウェアバージョンはWindows 8で正常に機能します。

以下は、バージョン**040H**から**070H**への変更点の概要です。これらの変更点は**OS**に依存するものではありません。

- ドライブのハングアップの原因となる電源投入時のタイミング問題が解消されました。ドライブのハングアップは、ホストコンピュータとの通信不能が起きる原因になります。ハングアップは通常、電源投入時またはスリープ状態やハイバネート状態から復帰する際に起こりますが、ほとんどの場合、新しいパワーサイクルによって状態がクリアされるため、通常のコピーを続行することができます。この故障モードは工場試験でのみ確認されており、工場以外では発生しないものと考えられていますが、本修正はその予防策として、すべての新ビルドの全フォームファクタに実装されています。また本修正はご希望により、ブート時間の不具合の発生を防ぐためにその場で実装することができます。現在まで、この問題に関連すると思われる故障による返品はありません。この種の不具合は通常、システムリセットにより復旧します。

リビジョン履歴

Rev. A..... 2013年26月3日

- ・ 初回リリース